

ディナゲスト錠 1mg

【この薬は？】

販売名：ディナゲスト錠 1mg (DINAGEST Tablets 1mg)

一般名：ジエノゲスト (Dienogest)

含有量：1錠中 1mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、子宮内膜症治療剤、子宮腺筋症に伴う疼痛改善治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、プロゲステロン受容体に作用して、卵巣機能や子宮内膜細胞の増殖を抑えることにより子宮内膜症の症状および子宮腺筋症に伴う疼痛を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

子宮内膜症

- ・次の目的で処方されます。

子宮腺筋症に伴う疼痛の改善

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 診断のつかない異常な性器出血がある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・ 過去にディナゲスト錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・ 高度の子宮腫大、または重い貧血がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 子宮筋腫の人
- ・ うつ病またはうつ状態の人、ならびに過去にうつ病またはうつ状態になったことがある人
- ・ 最大骨塩量に達していない人
- ・ 肝臓に障害がある人
- ・ 授乳中の人

○この薬を使う前に、妊娠していないことが確認されます。

○貧血のある人は、この薬を使う前に、必要に応じて貧血の治療が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

- ・ 1回1錠を1日2回、毎日飲みます。生理が始まった次の日から5日目までの間に使用開始します。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ 卵巣チョコレート嚢胞に使用される場合は、定期的に画像診断や血液検査等が行われます。
- ・ この薬を飲み始めてから、不正出血（月経時以外の性器からの出血）がおり、重い貧血がおこることがあります。不正出血の程度には個人差があり、不正出

血が持続する場合や、一度に大量の出血が生じることもありますので、このことについて医師から十分に説明を受けてください。出血量が多く持続日数が長い場合や、一度に大量の出血がおこった場合には、医師に相談してください。必要に応じて血液検査が行われることがあります。

- ・この薬を長期間使用している人で不正出血が持続している場合は、定期的に画像診断などが行われます。また、細胞診などの検査が行われる場合があります。
- ・うつ症状があらわれることがあります。このような症状がありましたら、医師または薬剤師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・この薬の使用中は、ホルモン性避妊薬以外の方法で避妊してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・この薬を1年を超えて使用している場合は、定期的に血液検査や骨塩量検査が行われます。
- ・最大骨塩量に達していない場合は、定期的に骨塩量検査が行われます。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な不正出血 じゅうとくなふせいしゅっけつ	月経時以外の性器からの出血
重度の貧血 じゅうどのひんけつ	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ
アナフィラキシー あなふいらきしー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、ふらつき
頭部	めまい、頭痛
耳	耳鳴り
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
生殖器	月経時以外の性器からの出血

【この薬の形は？】

	表	裏	側面
形状			
直径	6.6mm		
厚さ	2.9mm		
重さ	106mg		
色	白色		
識別コード	MO 2 3 5		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ジェノゲスト
添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、部分アルファー化デンプン、デンプングリコール酸ナトリウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：持田製薬株式会社

(<http://www.mochida.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-189-722

受付時間：9:00～17:40

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）